



「輝きをつなげて」

園長 小島 武志

園門横にはハーブ部の皆さんに植えるのを手伝っていただいたビオラとノースポールが、玄関にはいろいろな種類のハーブが、登園する園児たちを温かく迎え、園も華やかに、そして心地よい香りが漂っています。早いもので、平成30年もまもなく最終月を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様には、今学期も尾久幼稚園の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

2学期は、本当に多くの行事がありました。誕生会になかよし会、運動会に「おぐようアート（東京藝術大学との連携事業）」、芋掘りに生物園遠足、舎人公園遠足、赤土小5年生との交流にゆいの森あらかわ見学、そしてオータムコンサートに研究発表会。子ども達は、様々な形でいろいろな経験をしてきました。毎日の「遊び」を通して「気付き」「学び」、行事を通して新しいことに挑戦し、たとえば「おぐようアート」では芸術に触れたり、観たりして、そして実際にやってみることで感性が刺激され、様々な発想につながり、「遊び」の幅がどんどん広がってきました。

11月28日（水）に尾久幼稚園研究発表会が行われました。研究内容の紹介の中で、4・5歳児と保護者が参加した東京藝術大学との連携事業でのプログラム「ワリンバ～割って探そう自分の音と形～」について、次のように発表しました。「子ども達は、杉の丸太をクサビや木槌で割り、鍵盤状の板にし、それを専用台においてたくさん鳴らし、自分の気に入った音を見つけました。その後も音や楽器に関する絵本を読んでいくことで、身近な音に興味をもち、遠足で木を見つけると『どんな音がするのだろう。』と枝でたたいたり、木の種類によって音の違いを楽しんだりするなど、音への関心につながりました。」と。ひとつの気付きが「遊び」の中で新たな気付きへと繋がっていきました。

子どもは、「遊び」が大好きです。一人で遊んでいるとき、お友達と遊んでいるとき、夢中に遊んでいるときに、いろいろなことに気付き、「学び」に繋がります。よく、「遊び」そのものが「学び」と言われます。夢中で遊んでいるときの子ども達は、とても輝いています。その輝きを次へ、そして次へとつなげたいと思います。

また、11月の舎人公園への遠足や足立区生物園への遠足では、子ども達はたくさんのドングリを拾いました。保育室にはドングリを使って制作した子ども達のかっこいい、すてきな作品がいっぱい展示されています。お迎えの際には、是非、子ども達から話を聞いて、「すてきだね。」と一言ほめてあげてください。

最後に、研究発表当日は、保護者の皆様に受付や案内係、接待係等、お手伝いいただき本当にありがとうございました。お陰様をもちまして、実りある研究発表会を開催することができました。

12月のねらい

《3歳 たんぽぽ組》

- ・ 教師や友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 自分の思いを言葉や自分なりの方法で伝え、友達と関わることを楽しむ。
- ・ 冬の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする。

《4歳 うさぎ組》

- ・ 遊びや生活の中で、クラスの友達とみんなで活動する楽しさを味わう。
- ・ 季節の変化に気付き、冬の季節に応じた生活の仕方や年末年始の過ごし方を知る。

《5歳 そら組》

- ・ 共通の目的に向かい、友達と力を合わせたり役割を意識したりしながら取り組み、達成感を味わう。
- ・ ルールのある遊びを友達と思いや考えを出し合いながら、繰り返し楽しむ。

やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

<年少・たんぽぽ組>

遠足に行くことを心待ちにしていたたんぽぽ組の子供たち。初めての遠足では友達とバスに乗って歌や手遊びをしたり、いろいろな生き物に触れ合ったり、自分で作ったどんぐりバッグに秋色の葉っぱ、どんぐり、おもしろい形の石などをいっぱいになるまで拾ったりし、とても楽しい思い出となりました。遠足後は、拾ったどんぐりでマラカスを作ったり、どんぐりのケーキを作ったりし、秋の自然物にたくさん触れることができました。

製作コーナーでは、セロハンテープを使って空き箱を組み合わせ、自由に製作することを楽しんでいきます。作品ができあがると、「見て、見て！」と嬉しそうに作品を見せてくれます。

友達との関わりが増えてきて、友達を誘って一緒に遊んだりお弁当を食べながらお話ししたり、『おおかみさんおおかみさん』などの遊びを楽しんだりする姿も見られます。教師も遊びに入って、友達と一緒に過ごすことを楽しめるように援助していきます。

<年中・うさぎ組>

舎人公園遠足は、お天気に恵まれ舎人ライナーに乗っているときもウキウキわくわくしている様子が伝わってきました。そりゲレンデで風を感じて滑ったり、どんぐり拾いに夢中になったり、広い芝生でお弁当を食べたりして秋の一日を満喫しました。

クラスの中では、みんなで遊んだ忍者ごっこを、好きな遊びの時間にも取り組む姿が見られます。忍者の家作りでは、しかけの屋根や出入り口を作っています。『的当て』では繰り返しチャレンジするうちに、的に当たる確率が上がったり、絵本と同じ『きつねばしり』では手足をついて一本線の上を歩いたりし、修行を通していろいろな身体の動きも経験しています。これからたくさんの修行に取り組んでいきたいと思えます。

寒くなる季節を迎えますが、縄跳びや鬼ごっこなど、外遊びも元気にしていきたいと思えます。また、手洗い、うがいは引き続き行い、咳をするときのマナーや衣服の調節など、その都度生活に必要なことを伝えていきます。

<年長・そら組>

遠足日のお天気だった舎人公園遠足では、そりゲレンデで友達と一緒に何度も滑ったり、どんぐりや枝等をたくさん拾ったりして楽しみました。そのときにみんなで拾った枝と毛糸を使って、クリスマスツリーに飾るオーナメントを作ると、「これ、舎人公園で拾った枝なの？」「枝を使うとかわいいね。」「この枝の形おもしろいね。」と楽しんで作ったり気に入っていくつも作ったりする姿が見られました。

先月のいもほり遠足で収穫したさつまいもを使って、おいもパーティーをしました。自分たちでとったさつまいもに、自分たちで味付けをし、たんぽぽ組やうさぎ組に「美味しい！」「ありがとう！」と言われ、とっても嬉しそうな子供たちでした。

劇遊びへの取り組みでは、話の展開や言葉などを友達と考えたり、遊びの中で必要なものを作りながら楽しんだりしています。「こうするのはどう？」「それいいね！」等、友達の意見を聞いたり認めたりする姿も見られます。一人ひとりの姿を認めたり励ましたりし、みんなでやり遂げた達成感や喜びを感じられるようにしていきます。

◎感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が広まる時期です。

- ・ うがい、手洗いの励行
- ・ バランスのとれた食事
- ・ 人混みを避ける
- ・ 十分な休養をとる

※規則正しい生活を心がけ、疲労や睡眠不足に注意しましょう。

★お弁当を温めます 12月3日(月)より

※温めると味が変わるようなものは、別にしましよう。

※アルマイト製のものなど熱に強いお弁当箱にしてください。パッキンのものは子供の力ではあげづらくなります。

※幅広のゴムに名前を書いて、お弁当箱にはめましよう。